

11月27日(土)開催

元気な しもすわっ子 学びの発表会

G

S

M

生涯学習

No.573

かおり高い 文化のまち

町校長会代表挨拶

下諏訪中学校長

小野 英幸



今日は、「GSM元気なしもすわっ子学びの発表会」です。「学ぶことの意味」って何でしょう？ 学校の「学」の字です。学ぶの語源は「まねぶ」まねをすることと言われています。そしてさらに、「まねをして身につけ、その身につけた力を使って、新たな世界を広げること」です。

例えば、「話し・聞く力が身につくということ、その力を使ってコミュニケーションの世界が広がる」ということ、「文字の力が身につくということは、その力を使って、読み書きの世界が広がる」ということ、「自転車に乗ることが身につけば、今まで行くことのできなかつた遠くの世界を知ることができる」ということです。

どれもこれも当たり前前のことかもしれませんが、学び育つことで世界が広がるという、そこに喜びや感動が生まれるから、学び続けようとなるのでしょうか。今日は、その学んだ成果の上に立っての発表会です。「自分達の手で学んだことを、共同の場で披露することで、発表を見たり聴いたりした人たちが笑顔になるのを発表者が実感する」そうすることで「自尊心」が育っていく。そんな願いが込められています。

健全育成大会が発表会形式となって5年目となりました。下諏訪町の学びの発表会には、そんな力があります。会場の皆さんと共に楽しみながら発表会を作り上げたいと思っています。よろしく願います。

ノース下諏訪ネットワーク 「寺子屋やしろ」の活動

ノース下諏訪ネットワークの組織

学校支援部

寺子屋やしろ
読み聞かせ
ガーデンプログラミング

「寺子屋やしろ」とは、信州型コミュニケーションスクール「ノース下諏訪ネットワーク」の学校支援部の放課後行っている学習支援

地域連携部

地域連携合同会議

広報部

広報誌
リーフレット

寺子屋やしろのあゆみ

2011 社中で始まる
2014 社中図書館で北小児童も受け入れる
2016 社中、北小それぞれで行われる





テーマ ～楽しく作ろう～

様々な経験をしながら、楽しく作るための環境や支援の在り方は、どうあったらよいか

～願い～

- 1 充実した体験や満足感をたくさん味わって、友だちや保育士と一緒に作ることを楽しんでほしい。
- 2 使ってみたいものや素材を自由に提案して、思いを叶えながら表現してほしい。
- 3 好きな場所で友だちと一緒に作ったり、遊んだりすることを楽しんでほしい。

～楽しく作るために大事にしていること～

- 1 子どもたちが活動を始める前「楽しもう」と思っているか。
- 2 子どもたちが活動をしているとき「楽しい」と思っているか。
- 3 子どもたちが活動をしてから「楽しかった」「またやりたい」「つづきはどうぞ」と思っているか。

七夕飾りを作ろう



3歳未満児

感触遊びをメインにし、作ってもらったり、一緒に作ったりすることを楽しむ。

年少(3歳児)

ハサミやノリなどの用具の使い方を知り、作ることが楽しいと感じることを大切にする。

年中(4歳児)

作ってみたい気持ちを持ち、自分で作ることの楽しさを感じていけることを大切にする。

年長(5歳児)

友だちとイメージを共有し目的に合わせて作り上げる楽しさや達成感を味わうことを大切にする。



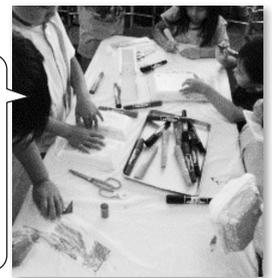
びりびりたのしいな



おにぎり りんご むぎむぎ



忍者屋敷を作ろう



どんなさかんなしょうかな



スタンプあそびはたのしいな

ハロウィンごっこをしよう



「寺子屋やしる」のこれから

- 1 子どもたちが時間を有意義に過ごせる工夫
- 2 ひとりひとりの子どもが抱えている課題を先生方と共有
- 3 社中の定期テスト前への対応

地域の活性化にもつながる

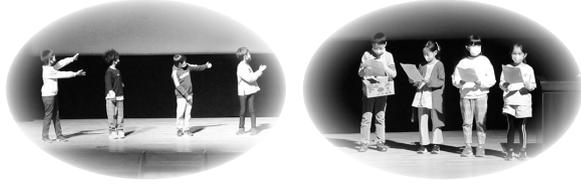
・ノース下諏訪ネットワークの活動に位置付け、毎年3回、学校側から、どんな支援をしてほしいか、地域住民としてどんな支援ができるのか話し合っている。
 ・支援員(ボランティア)の存在
 ・ボランティアにとっても子どもたちからパワーをもらい、子どもたちの笑顔を見るのが楽しみ。

なぜ「寺子屋やしる」は10年も続いてこられたのか

「寺子屋やしる」びやびやびやびや
 ◇期間 6月後半～3月
 ◇時間 水曜日の放課後 授業終了時から午後4時15分まで(冬期は4時まで) 水曜日の放課後 授業終了時から午後4時30分まで
 ◇学習内容 (北小) ・算数 漢字練習 (宿題も可) (北小) ・百ます計算 プリント など (社中) ・数学 英語 など(宿題も可) ・定期テストで不明な点 ・プリント など

下諏訪北小学校 4年2組

学校で見つけたきのこをきっかけに、総合的な学習の時間できのこについて学習していくことにしました。



高級きのこのトガリアミガサダケが学校で見つかりました。

ハルシメジも見つかりました。

食べられるきのこは少なかったけれど、おもしろいきのこにたくさん出会いました。

信州雅の会の山田さんからきのこについて教えていただくことにしました。

第1回きのこ狩り(7月)



第1回きのこ狩りで見つかったハナビラダケ

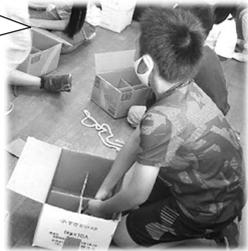
第3回きのこ狩り(10月)

第3回きのこ狩りは大成功。きのこの味噌汁を作って学校中の先生に食べていただきました。



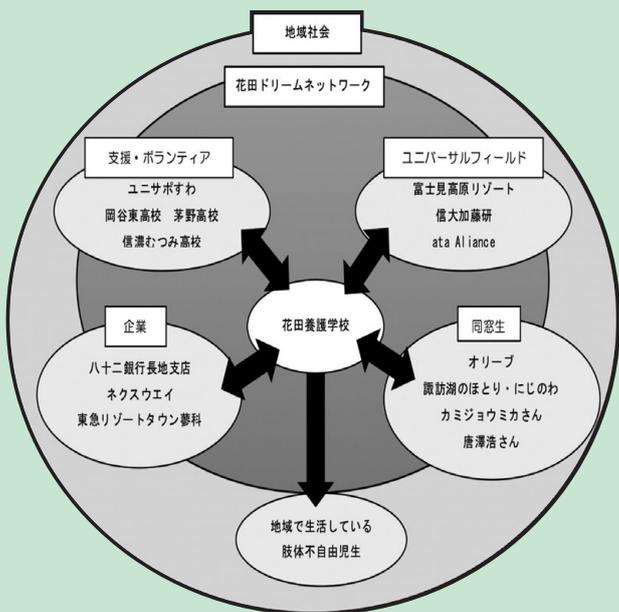
第2回きのこ狩り(9月)

9月の第2回きのこ狩りでは、採ったきのこがぐちゃぐちゃになってしまい、オリジナルびくを作ることにしました。



◇きのこを通して学んだこと◇

- ・きのこは味も見た目も生える時期や環境もさまざま
- ・壁にぶつかったとしても、みんなで力を合わせて乗り越えるのは楽しい
- ・北小や下諏訪町はきのこが生える自然豊かなすばらしい場所
- ・私たちが安全に活動できたのは、おうちの方や地域の方、先生方に支えてもらったから



実現するために花田ドリームネットワークという応援団をつくりました。

そのために
・やりたいこと、やってみたかったことにチャレンジする。
・地域社会とつながっていろいろな人と出会い、一緒に活動する。

高等部で大切に考えていること
1 「生きにくさ」を含めて自分を知ること
2 生きる喜びを獲得する方法を知っていること
3 卒業後に頼りになる人々とながっていること

2つの願いをもって 発表します
①本校の素敵な生徒を知ってほしい。
②地域の皆さんに応援団になっていただきたい。

花田養護学校 高等部

花田養護学校は、肢体不自由により地域の学校や家庭での生活が困難な児童生徒が学び、生活する場所です。



下諏訪南小学校 5年3組



◇地域の魅力をPRするコマーシャルを作ろう◇

一人一台配られている自分のタブレット端末を使って、地域の魅力や特徴、環境保全などについてPRするコマーシャル(CM)を作りました。CMのテーマごと5つのチームを作り、撮影から編集まで自分たちの力でがんばりました。

万治の石仏の紹介CM



まず一礼して「よろずおさまりますように」と心で念じる。次に、時計回りで3周し、「よろずおさめました」と唱える。

下諏訪の歴史の紹介CM



おんばしらは7年に1度行われます。おんばしらは、春宮と秋宮に建てられています。

諏訪湖にすむ生き物を守るCM



ゴミのせいで町は汚れています。

ごみを捨てると、生き物はえさだと思って食べてしまいます。ごみを増やさないように、エコバッグを使いましょう。「地球にやさしい」を心がけて生活しましょう。

下諏訪の魅力の紹介CM



春宮、秋宮、龍の口、諏訪湖博物館・赤彦記念館、諏訪湖の花火等魅力がいっぱいあります。

これからもさまざまな活動を通して、地域の魅力や環境保護などについて調べたり、発信したりしていこうと思います。

諏訪湖のごみ問題についてのCM



一人一人ががんばってごみを減らせばこの星を守ることができます。

- よろしくお願ひします**
- ① 一人暮らし体験ができる場所をさがしています。
 - ② 商品開発や販売などを一緒に考えてくれる方をさがしています。
 - ③ 仕事の提供や実習を受け入れてくれる場所をさがしています。



富士見高原リゾートでやっていた遠足がコロナでできなくなりました。だけど、学校の体育館を富士見高原リゾートにしちゃいました。



下諏訪町のフォークソング愛好家「夢列車」の皆さんとフォークソングを歌いまくりました。

富士見高原リゾートで 生まれて初めてデュアルスキーをしました



友だちが毎年スキーに行っていて、楽しかったという話を聞いたときに自分もやりたいという気持ちがあつて自分ではできないとあきらめていたけど、車椅子でもできると知って、やってみたいと思いました。



自分の足で精一杯走って聖火をたくさんの人たちにつなげたいと思ってオリンピックピック聖火ランナーにも挑戦しました。

下諏訪中学校

総合的な学習の時間である「社の時間」があります。この時間では、全校生徒が学びたい講座を選択し、1～3年生の縦割りで地域の方と関わりながら学びを深めています。



◇総合的な学習の時間～絆太鼓～◇

「絆太鼓」講座は、下諏訪町の諏訪神太鼓の方を講師に招き、太鼓や木遣りを教えていただいています。今回は、その中の一曲「一番太鼓」を演奏します。

人と人との間隔が2mあくように体育館の床に番号を書いたテープを貼りました。企画毎配布した紙に自分がそこにいた時間と座っていた番号を記入してもらい、万が一に備えました。

全校で体育館に集まって盛り上がることもできず、大きな声を出して盛り上げることもできず、部活動ごとの出店もできず、伝統的な泥かけもできず、一般公開もできませんでした。

◇第40回向陽祭へスローガン「怪盗」◇

～僕らの青春を奪い取れ～

コロナによってたくさんの行事が中止になり学校の活気もなくなってきたてしまいました。そこで文化祭を通して奪われてしまった高校生活を取り戻して活気を取り返そうという思いを込めてスローガンを設定しました。

役員が集まり、コロナ対策を話し合いました。

下諏訪向陽高校



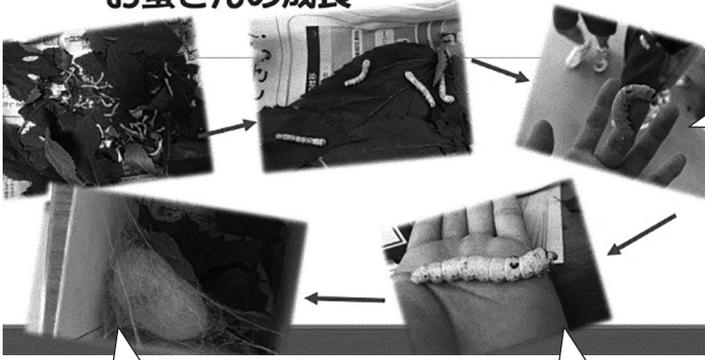
体育館のシール貼り

下諏訪中学校



「なぎがま講座」とは、1～3年生が一緒になって自分の学びたいことについて探究的に学習する授業です。地域のことを知り、発信する力を育てます。

お蚕さんの成長

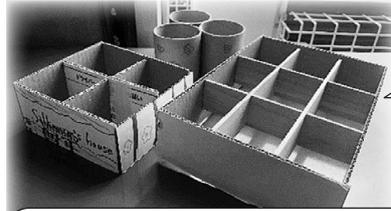


繭が完成したうれしさと、自分の手で殺めなければいけない悲しさで複雑な気持ちになりました

短い一生が少しでも快適で幸せだったと思ってもらえるように愛情をこめて育てました

◇なぎがま講座でお蚕さんを育てました◇

- ・諏訪地方で盛んに育てられたお蚕さんを育ててお蚕さんについて知りたい。
- ・繭や生糸でどんなものが作れるか知りたい。



【必要な道具】

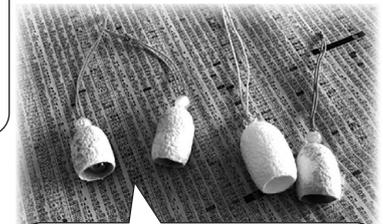
- ・飼育箱（深さ6cmくらいの箱）
- ・まぶし（段ボールや厚紙で細長い長方形の部屋をいくつも作る）

【育て方】

- ・1日2～3回新しい桑をあげる
- ・毎日欠かさず部屋の掃除をする



桑の葉しか食べないので、桑の葉を集めるのが大変



繭で作ったストラップ

- ・最初は気持ちが悪く思ったけれど、少しずつ触れるようになりました
- ・どんどん大きくなっていくお蚕さんを見てうれしく思いました

◇お蚕さんありがとう◇

命を育てる大変さと命の大切さは大きさに関係なく平等だと実感しました。

〈3日目〉 野外ステージ・後夜祭



〈2日目〉 体育祭・映画鑑賞・中夜祭



〈1日目〉 開祭式・前夜祭



コロナ禍でも文化祭大成功

- ・役員だけではなく、全校生徒のコロナに対する意識により、全校で協力しなければ、今年の文化祭は成功しませんでした。
- ・結果として感染者を出しませんでした。
- ・記憶に残る高校生活のかけがえのない思い出をつくることができました。
- ・スローガン「怪盗」は僕らの青春を奪い取れくを達成することができました。

【コロナ対策】

- ・体育館で間隔を2m開ける。
- ・会場を分けてリモートで参加する。
- ・声は出さずに、音の出るものを持参する。
- ・部活動ごとの出店の代わりに、商工会の方に協力していただく。
- ・泥かけ、一般公開は中止する。

講評



教育長 松崎 泉
まつざき いずみ

皆さんこんにちは。今、下諏訪中学校の生徒さんが、「南小、北小の児童の皆さんが元気いっぱいに発表して、よかったです」と感想をお話してくださいましたが、それがすべてかなあと思います。すべての皆さんの元気な発表、とてもすばらしかったです。私からは「(G)元気な、(S)しもすわっ子、(M)学びの発表会」に、多くの方にご参集いただき開催できましたことに感謝の気持ちを込めて発表を振り返りたいと思います。

（各園・学校・団体への講評は略）

ご参集の皆様には、本日の発表の素晴らしさを大いに褒め認めていただき、子どもたち、生徒の皆さんの活動の価値について、それぞれのお立場で、ご理解いただきながら、本日の多くの笑顔、また、感動してちょっと涙が出たところがありますけれど、そのような気持ちで更に応援していただきたいと思いません。このことが真の意味の健全育成につながるのではないかと考えます。

本日の発表会が町の子どもの明日からの地域の皆様との更なる交流に反映されること、参加された皆さんお一人一人のご健勝とご活躍、ご発展をお祈り申し上げまして、私からの講評とさせていただきます。本日は有意義なひとときをありがとうございました。ぜひこの感動をこれからつなげていきたいと思えました。どうもありがとうございました。

参会者の感想から

◇子どもはすごいと思いました。コロナの中で多くの行事ができなくなる中で、自分たちが最大限できることを探して、それに取り組み成果をあげていることに感激いたしました。

◇楽しいこと、楽しむことから、地域や町内の良いところを探し、さらに学びを広めて深める姿が印象的です。しもすわっ子の学びについて 保↓小↓中↓高 へと一貫したテーマがあり地域の大人たちが見守り支援する形ができ上っていると素晴らしいと感じました。「寺子屋やしろ」を支える大人の皆様に心から感謝と敬意を申し上げます。

◇普段見ることのできない小中学校、向陽高校、花田養護学校の元気で学んでいる姿を見ることができてよかったです。わが子のこのような大舞台でしっかり発表している姿に感動しました。下諏訪町の学校、保育園は本当に地域の方、先生方の協力、支えが素晴らしいなと思っています。これからも一下諏訪町の住民として子どもたちの成長を見守っていききたいと思えます。

◇各学校の実践発表がとても元氣に行われたことがとても嬉しかった。子どもたちが元氣で活躍していると地域も明るくなる。逆に地域が子どもたちに関わっていけば子どもたちも元氣に育っていくと思う。とても貴重な学びの機会をしっかりと忘れないで引き続いて頑張ってほしい。とても元氣をもらった発表会でした。



全日本中学選手権競漕大会に出場して



努力の先にあるもの

下諏訪中学校3年 武居 佑樹

7月に全日本中学選手権競漕大会が私たちの地元下諏訪で行われました。私たちは、長野県代表として大会に参加しました。ボート部に入ってから3年目、私たち3年生にとって最後の大会でした。この大会では、3位以上になることを目指していましたが、正直自信がありませんでした。

1年の全国大会以来、他校とのレースの経験がなかったので、大会で勝ち抜くことができるのか不安でした。さらには、本年度の全国大会の2か月前にあった大会で、愛知県の中学校とレースをしたときに、大きな差をつけられて負けてしまいました。私は弱腰になってしまいました。それでも、他のクルーは、もっと強くなろうとしていました。それに刺激を受け、更に練習に力を入れてきました。

2か月後、全国大会が始まりました。1日目は、予選で2位以上が突破できる一発勝負のプレッシャーの中、何とか2位で突破できました。そして2日目、準決勝でも2位通過。レース一つ一つを経るごとにプレッシャーが大きくなっていき、いよいよ決勝戦。私たちを含め、すべてのクルーが緊張していたと思います。スタートから隣のレーンのクルーと抜いたり抜かれたり繰り返しました。

そしてゴールしましたが、結果が分からなまま棧橋に戻り、艇を担いでいる時に、私たちが3位と放送が流れて、その瞬間、目から涙がこぼれました。このような経験は、ボート部に入っていないとできなかったと思います。そして顧問の樋口先生のおかげだと思います。大会を開催していただき、ありがとうございました。



中体連北信越大会（バレーボール）に出場して



仲間の大切さ

下諏訪中学校3年 濱 心太郎

僕は、中学校最後の大会となる中体連で、北信越大会に出場しました。北信越大会は、中学校では初めてだったので、緊張や不安がいっぱいでした。結果は、ベスト8で悔しい気持ちでしたが、負けた悔しさと同時に今まで一緒に練習をがんばってきた仲間との思い出が頭に浮かびました。そして、仲間の大切さを感じました。

下諏訪中は、コートの中に小学校からの経験者である3年生3人と未経験者の2年生3人が入ります。新人戦の頃は、僕たち3年生だけでほとんどプレーしていましたが、3年生が最後となる中体連は違いました。なぜなら2年生が今までたくさん努力してくれていたからです。コートの6人にはそれぞれ大切な役割があり、2年生には助けられたことがいくつもありました。僕たち3年生も更にレベルアップできるように練習に励みました。そして最後は全員で戦うことができました。

今では、この結果に悔いはありません。なぜなら、今までずっと一緒に頑張ってきた仲間たちと最後まで全力で戦えたからです。3年生最後の北信越大会はとてもいい結果と思い出で終わることができました。一緒に戦ってきた3年生、支えてくれた1・2年生、保護者の皆さん、そしてご指導いただいた堀内先生には感謝の気持ちでいっぱい입니다。今までありがとうございました。

